

各 関 係 機 関 御 中



農 研 第 1 1 6 0 号
令和 5 年 1 0 月 5 日

石川県農林総合研究センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

令和 5 年度病害虫発生予報第 7 号を下記のとおり送付します。

連絡先 石川県農林総合研究センター
総合研究部 病害虫防除室
電 話 076-257-6972 (直通)
F A X 076-257-9140
E-mail kisk0301@pref.ishikawa.lg.jp

病害虫発生予報第 7 号 (予報期間：1 0 月上旬～1 0 月下旬)

予報内容

麦 類

オオムギ黒穂病類の発生は**多**と予想される。種子の消毒を実施する。

果 樹

カキ炭疽病の発生は**多**と予想される。降雨前後の薬剤防除および罹病した果実の処分を徹底する。

野菜・花き

軟腐病の発生は**多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

ブロッコリー黒すす病の発生は**多**と予想される。空気感染し強風後に感染拡大しやすいため、前後の防除を徹底する。

トマトすすかび病の発生は**やや多**と予想される。耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガの発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

コナガの発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ネギハモグリバエの発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※ 病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止を徹底する。

—気 象 予 報—

1 か月予報 （令和5年9月28日付け 新潟地方気象台）

予報期間 9月30日～10月29日

[確率予報]

気 温	低い	10%、	平年並	30%、	高い	60%
降 水 量	少ない	30%、	平年並	40%、	多い	30%
日照時間	少ない	30%、	平年並	40%、	多い	30%

[概要]

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

- ・ 9月30日（土）～10月6日（金）
天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・ 10月7（土）～10月13日（金）
天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・ 10月14日（土）～10月27日（金）
天気は数日の周期で変わるでしょう。

注 1) 発生量は平年比

2) (+) は病害虫の発生に好適な要因、(－) は不適要因、
(±) は好適・不適に関与しない要因を示す。

1 麦類の病害虫

オオムギ雲形病

発生時期	越冬後
発生量	少
予報の根拠	(1) 前作の発生は少 (－)
防除上の注意事項	(1) 種子の消毒を実施する。

オオムギ黒穂病類

発生時期	出穂後
発生量	多
予報の根拠	(1) 前作の発生は多 (+)
防除上の注意事項	(1) 種子の消毒を実施する。

2 果樹の病害虫

カキ炭疽病

発生時期	連続発生
発生量	多
予報の根拠	(1) 現在の発生は多 (+) (2) 降水量はほぼ平年並 (±)
防除上の注意事項	(1) 降雨前後の薬剤防除および罹病した果実の処分を徹底する。

3 野菜・花きの病害虫

軟腐病（ネギ、ブロッコリー等）

発生時期	連続発生
発生量	多
予報の根拠	(1) 現在の発生は多 (+) (2) 気温は高い (+) (3) 降水量はほぼ平年並 (±)
防除上の注意事項	(1) 傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

ブロッコリー黒すす病

発生時期	収穫期
発生量	多
予報の根拠	(1) 現在の発生はやや多 (+) (2) 気温は高い (+) (3) 降水量はほぼ平年並 (±)
防除上の注意事項	(1) 定植後 30 日頃と発らい初期の防除を徹底する。 (2) 空気感染し強風後に感染拡大しやすいため、前後の防除を徹底する。

トマト灰色かび病

発生時期	連続発生
発生量	やや少
予報の根拠	(1)現在の発生はやや少（－） (2)気温は高い（－） (3)降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1)耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

トマトすすかび病

発生時期	連続発生
発生量	やや多
予報の根拠	(1)現在の発生は並（±） (2)気温は高い（＋） (3)降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1)耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ネギハモグリバエ

発生時期	連続発生
発生量	やや多
予報の根拠	(1)現在の発生は並（±） (2)気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)発生初期の防除を徹底する。 (2)抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウ

発生時期	連続発生
発生量	多
予報の根拠	(1)現在の発生は多（＋） (2)フェロモントラップ誘殺数は並（±） (3)気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)若齢幼虫の防除を徹底する。

シロイチモジヨトウ

発生時期	連続発生
発生量	多
予報の根拠	(1)現在の発生は多（＋） (2)フェロモントラップ誘殺数は多（＋） (3)気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)若齢幼虫の防除を徹底する。

オオタバコガ

発生時期	連続発生
発生量	多
予報の根拠	(1)現在の発生はやや多（＋） (2)フェロモントラップ誘殺数は並（±） (3)気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)若齢幼虫の防除を徹底する。

コナガ（アブラナ科：ダイコン、ブロッコリー等）

発生時期 連続発生

発生量 多

予報の根拠 (1)現在の発生はやや多（＋）
(2)フェロモントラップ誘殺数はやや多（＋）
(3)気温は高い（＋）

防除上の注意事項 (1)抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。